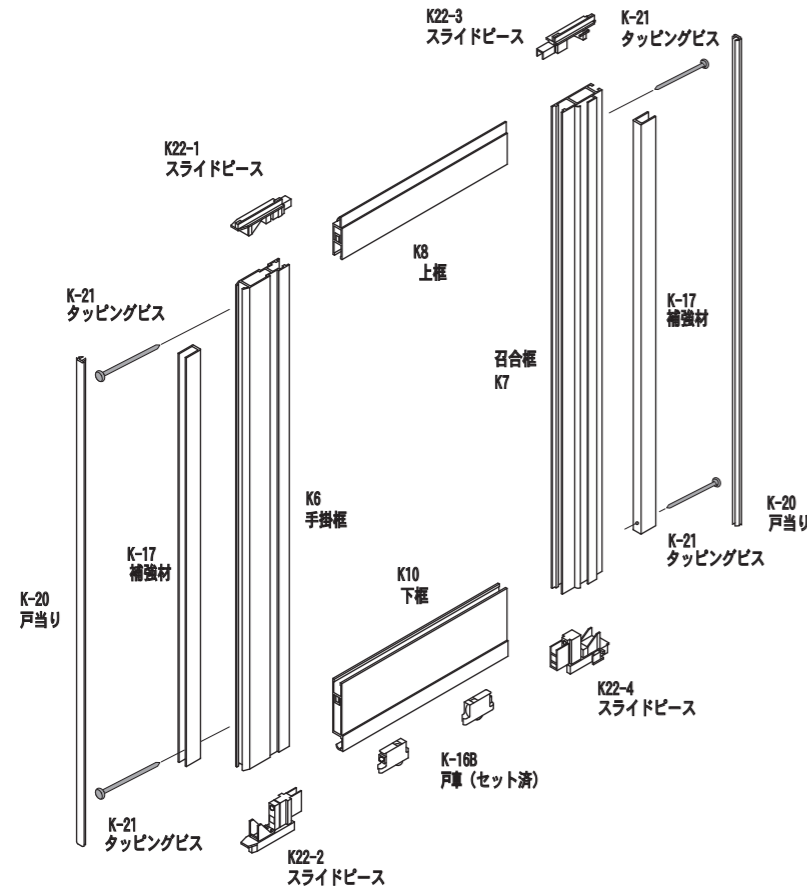


PLAST 障子組立手順書 (K, KR型)

※ 本説明書は左障子(内観)で説明しております。

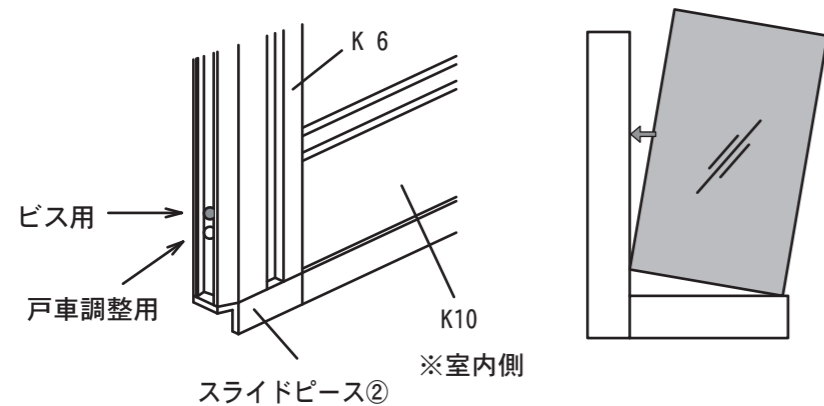
K型 (単板ガラス仕様) 左障子組立図



⚠ 補強材は、縦框の中に入れて出荷しております。輸送時は、抜け止め用の棒をビス穴にさしてあります。これを抜いてから組立を行ってください。

※ 開口H1000mm未満の製品には補強材は入っていません。

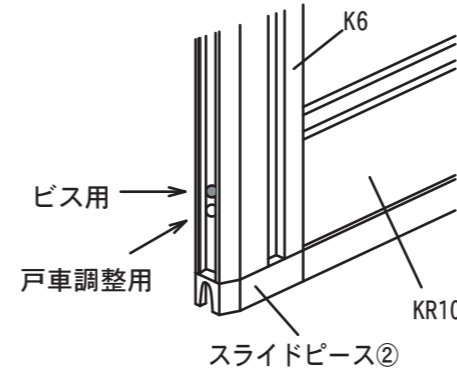
- 1 ガラスの4周にグレチャンを巻きつけます。
※ グレチャンは余尺をつけて切り、押し込んでください。
- 2 K型の場合
手掛框 (K6) にスライドピース②と補強材を入れ、下框 (K10) に対し、ビスで共締めをします。框をL字に組んだところに、グレチャンを巻いたガラスを入れます。



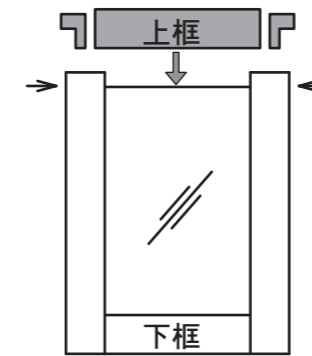
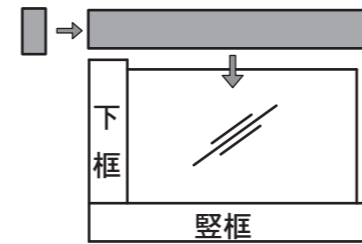
KR型の場合

手掛框 (K6) にスライドピース②と補強材を入れ、下框 (KR10) に対し、ビスで共締めをします。ガラスはK型のと様に入れます。

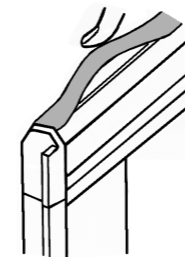
- ⚠ 下框に戸車がセットされていることを確認してください。
- ⚠ スライドピースと下框の向きを合わせて組み立ててください。



- 3 召合せ框 (K7) に補強材、スライドピース④を組み込み、ビス止めをします。
- 4 上框 (K8) とスライドピース①を組み込み、ビス止めをします。



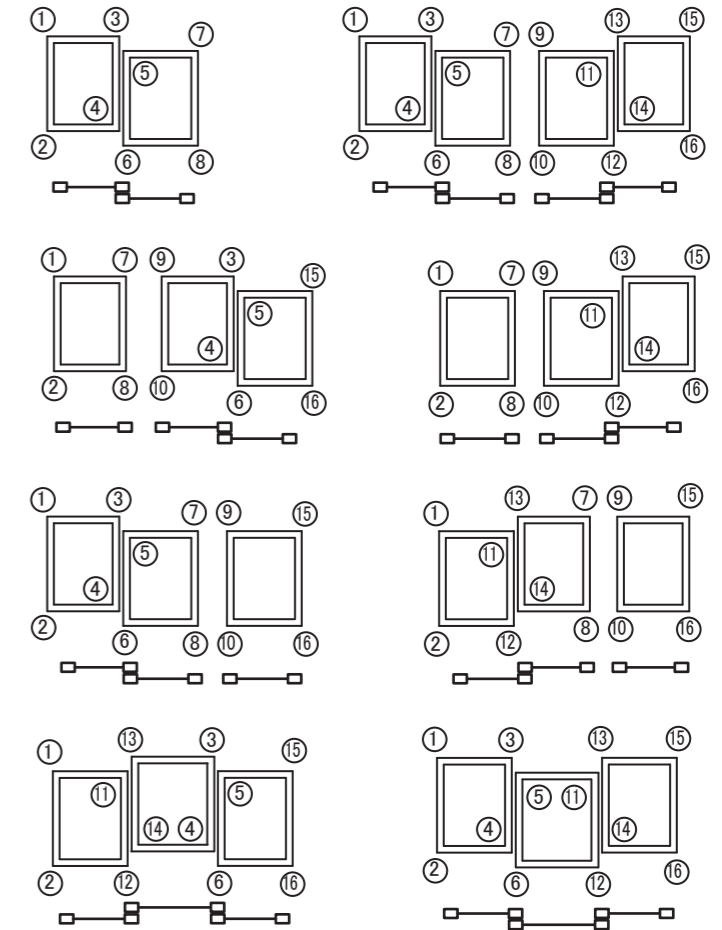
- 5 障子に戸当り (K-20) を入れて完成です。
⚠ 戸当りはすきまが開かないよう、余尺をつけて切り、押し込んでください。
⚠ 4枚引突合せ部分には、突合せ部用戸当り (K-25) を入れてください。



- 6 残りの障子も同様に組み立ててください。スライドピースの使い方は右図をご参照下さい。

⊘ K型の召合せ下部に使用するスライドピースには、構造上スプリングを内蔵しております。これを破損しますと、性能に影響を及ぼす恐れがあります。特に搬送の時や建込みの時に、破損しないよう注意してください。

K型障子の組立・スライドピースの配置



KR型障子の組立・スライドピースの配置

